

2019 年度

韓国留学報告書

実習先:慶熙大学

実習期間:8月31日(土)~12月26日(木)

新潟国際情報大学

国際文化学部

学籍番号:21018105

本間国彰

目次

1 研修先及び実習期間	3
2 研修先概要	3
3 研修目的	3
4 研修内容	4
4-1 研修のスケジュール	4～7
4-2 研修の詳細	7, 8
5 当初目的・目標への達成度	9
6. 反省・課題	9
謝辞	9

付録

留学記録{写真}	10～12
----------	-------

1 研修先及び実習期間

研修先:慶熙大学 国際教育院

研修期間:令和元年 8 月 31 日(土)~令和元年 12 月 26 日(木)

2 研修先概要

(1) 大学について

慶熙大学は、ソウル市東大門区に位置する大韓民国の私立大学である。ソウルは人口が 1000 万人以上で、韓国の首都である。1949 年に創立され、毎年 40 ヶ国から 1200 人以上の学生が韓国語を学びに来る、非常に大きな大学である。文系から理系、芸術・デザイン系まで非常に多くの学部を構え、あらゆる分野の研究を行うことができる。その中でも、韓国語教育が盛んであり、語学研修生たちが韓国語を学ぶための国際教育院と呼ばれる建物がある。また、留学生のためにキョンヒ大学の韓国人学生が韓国語の学習や韓国の生活をバックアップするトウミ制度が充実している。さらに数々の著名人を輩出し、韓国の中ではかなり有名な大学に成長した。

(2) 大学で行われている教育について

慶熙大学は、質の高い教育を行っていることと、多くの留学生を受け入れていることに特徴がある。韓国語を学ぶための国際教育院と呼ばれる建物で日々勉強し、充実した環境の中で学習を行うことができる。今回お世話になった語学コースは、韓国語を学びたい外国人に向けて教育を行うものである。初級から上級まで 6 段階にレベル分けされており、韓国語が初めての学生も基礎からしっかり学習することができる。

大学には、他にもテコンドー、映画、K-POP、伝統楽器などの多様な韓国文化授業を受けることができる。また、ロッテワールド、南怡島、ミュージカル観覧などの多様な現地学習も行われている。

3 研修目的

今回の研修の目的は、語学力と自分自身の成長である。日本では、韓国語を習うのが大学の授業だけだが、留学をすることによって、日常の生活から全てのことに韓国語を使わないといけなくなり、自然と韓国語に触れられ、勉強する時間も自然と増えていく。また、韓国語は比較的、日本語に似ている発音や単語が多く、興味を持ちながら勉強することができる。この 2 つの点から留学することを決意した。

留学するという事は、今までとは全く違う環境に身を置くことができ、全てのことが初めての経験となる。そういった環境に自ら挑戦し、自分自身の成長に期待した。

大学の授業では、外国人と同じクラスになり、一緒に勉強をする。外国人と友達になり、お互いの文化や経験を話すことによって、色々な国について知ることができ、コミュニケーション能力も養うことができるため、自分自身の成長に繋がると感じた。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日（曜日）	午前	午後
8	31(土)	到着・入寮	
9	1(日)	休み	
	2(月)	オリエンテーション・クラス分けテスト	
	3(火)	初級1	韓国事情(特講)
	4(水)	初級1	セミナー
	5(木)	現地学習(ロッテワールド・水族館)	
	6(金)	初級1	
	7(土)	休み	
	8(日)	休み	
	9(月)	初級1	映像韓国語
	10(火)	初級1	セミナー
	11(水)	初級1	韓国事情(特講)
	12(木)	チュソク(秋夕)休み	
	13(金)		
	14(土)		
	15(日)		
	16(月)	初級1	映像韓国語
	17(火)	初級1	セミナー
	18(水)	初級1	韓国事情(特講)
	19(木)	現地学習(ソウルタワー・美術館)	
	20(金)	初級1	
21(土)	休み		
22(日)	休み		
23(月)	初級1	映像韓国語	
24(火)	初級1	ハングル博物館	
25(水)	初級1	セミナー	
26(木)	初級1	韓国の大衆文化	

	27(金)	初級1	
	28(土)	休み	
	29(日)	休み	
	30(月)	オリエンテーション	
10	1(火)	オリエンテーション	
	2(水)	初級2	
	3(木)	休み	
	4(金)	初級2	
	5(土)	休み	
	6(日)	休み	
	7(月)	初級2	映像韓国語
	8(火)	初級2	セミナー
	9(水)	休み	
	10(木)	初級2	韓国の歌
	11(金)	初級2	
	12(土)	休み	
	13(日)	休み	
	14(月)	初級2	映像韓国語
	15(火)	初級2	セミナー
	16(水)	初級2	韓国事情(特講)
	17(木)	初級2	韓国の歌
	18(金)	初級2	
	19(土)	休み	
	20(日)	休み	
	21(月)	初級2	映像韓国語
	22(火)	初級2	セミナー
	23(水)	初級2	韓国事情(特講)
	24(木)	初級2	韓国の歌
	25(金)	初級2	
	26(土)	休み	
	27(日)	休み	
	28(月)	初級2	映像韓国語
	29(火)	初級2	セミナー
	30(水)	初級2	韓国事情(特講)
	31(木)	初級2	韓国の歌

11	1(金)	初級2	
	2(土)	休み	
	3(日)	休み	
	4(月)	初級2	映像韓国語
	5(火)	中間試験	
	6(水)		
	7(木)	初級2	韓国の歌
	8(金)	初級2	
	9(土)	休み	
	10(日)	休み	
	11(月)	現地学習(南怡島)	
	12(火)	初級2	セミナー
	13(水)	初級2	韓国事情(特講)
	14(木)	初級2	韓国の歌
	15(金)	初級2	
	16(土)	休み	
	17(日)	休み	
	18(月)	初級2	映像韓国語
	19(火)	初級2	セミナー
	20(水)	初級2	韓国事情(特講)
	21(木)	初級2	韓国の歌
	22(金)	初級2	
	23(土)	休み	
	24(日)	休み	
	25(月)	初級2	映像韓国語
	26(火)	初級2	セミナー
	27(水)	初級2	韓国事情(特講)
	28(木)	初級2	韓国の歌
	29(金)	初級2	
	30(土)	休み	
12	1(日)	休み	
	2(月)	初級2	映像韓国語
	3(火)	初級2	セミナー
	4(水)	初級2	
	5(木)	期末試験	

	6(金)	
	7(土)	休み
	8(日)	休み
	9(月)	初級2 映像韓国語
	10(火)	初級2
	11(水)	修了式 韓国事情(特講)
	12(木)	TOPIK 対策
	13(金)	TOPIK 対策
	14(土)	休み
	15(日)	休み
	16(月)	TOPIK 対策
	17(火)	TOPIK 対策
	18(水)	TOPIK 対策 韓国事情(特講)
	19(木)	修了式(新潟)
	20(金)	自由研修
	21(土)	
	22(日)	
	23(月)	
24(火)		
25(水)		
26(木)	帰国	

4-2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) 初級1

新潟国際情報大学のメンバーだけで、授業を行った。スピーキングやライティング、リスニングの授業が行われ、基礎的な知識を確認することが目的であった。

ii) 初級2

初級2の授業からは、様々な国の人たちと一緒に授業を行った。少人数のクラスで、スピーキングやライティング、リスニングの授業が行われ、より難易度の上った文法を学び、単語の量も多くなった。外国人とペアを組んで勉強をすることや、コミュニケーションを取るために、より実践的に韓国語を話すことが求められた。

iii) 映像韓国語

ある1つの韓国ドラマを見て、そのドラマのワンシーンを自分たちで出演・撮影し、再現するといった授業である。最後には、自分たちでドラマを作成し、見事にコンテストで優秀賞を受賞することができた。

iv) セミナー

前半は主に単語の授業が中心であった。毎回、授業の初めに単語テストが行われるため、毎週の予習・復習が欠かせなかった。後半は4人で1グループを作り、日本と韓国の違いについて発表を行った。たくさん時間をかけて発表の準備をしたため、韓国の文化について詳しく知ることができた。

v) 韓国事情(特講)

この授業では毎週様々な体験を通して、韓国の文化や歴史について学ぶものだった。韓国料理体験やダンス、習字、韓服体験など色々な体験をすることができた。

vi) 韓国の歌

この授業は4人で1グループになり、好きな歌を1曲選択し、先生と友達に紹介するものであった。ポップな歌からバラードまで多くの韓国の楽曲に触れることができた。

vii) 現地学習

1回目はロッテワールド・水族館、2回目はソウルタワー・美術館、3回目は南怡島に行った。どの現地学習もとても記憶に残り、韓国の有名な観光地に行くことができた。留学生生活をより一層楽しむことができた。

viii) TOPIK 対策

留学の終盤に、新潟国際情報大学のメンバーだけで行う授業であった。TOPIK 合格に向け、実際の問題を限られた時間内で解いていった。難易度は高かったが、TOPIK 合格を目指し、意欲的に取り組むことができた。

ix) 中間試験・期末試験

2日間かけて試験が行われ、1日目は面接試験、2日目は筆記試験であった。

x) 自由研修

帰国前、最後の自由時間であり、それぞれが留学生活でやり残したことをするために、時間を使っていた。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 韓国語の成長について

今回の留学を通して、韓国語力は確実に伸びたと感じる。なぜなら、普段の生活や買い物、食事などあらゆる場面で韓国語に触れるため、自然と身につけていった。また、4か月間の毎日の予習・復習を積み重ねていった結果、多くの文法や単語を覚えることができた。そのおかげで、はじめは理解できなかった先生の話が、帰る頃には聞き取れる単語の数が多くなり、話の内容を掴むことができるようになった。

ii) 自分自身の成長について

今回の留学に参加する前、日韓関係が優れておらず、不安を抱きながら留学に参加した。しかし、現地に行ってみると、日本で報道されていることが嘘かのように、私達が留学に来たことを歓迎してくれた。このことから、周りの意見にとらわれず、自分を信じて、自分の目で確かめることが重要であると感じた。どんな状況でも留学という大きな挑戦をし、このような学びを得たため、自分自身の成長に繋げることができた。

6 反省・課題

4か月間の留学だったが、全てが初めての経験であったため、何事も新鮮であり、たくさんの刺激を受けることができた。今回の学びを決して無駄にせず、たくさんの人と共有していきたい。さらに、これからも韓国の文化や歴史について学びを深め、異文化理解を大切にしていきたい。

謝辞

今回、慶熙大学国際教育院にて懇切丁寧な指導をくださったソク先生、キム先生、イ先生、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の韓国留学担当で留学前サポート、現地サポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、吉澤先生、申先生、学務課の方々には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録

留学記録(写真)

ロッテワールド



景福宮



集合写真

